

大阪経済の情勢（2026 年 5 月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。コンビニ販売額は減少。家計消費支出（近畿；4月）は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府（4月）は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産（4月）は上昇。全国の生産（5月）は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間（4月）は横ばい。

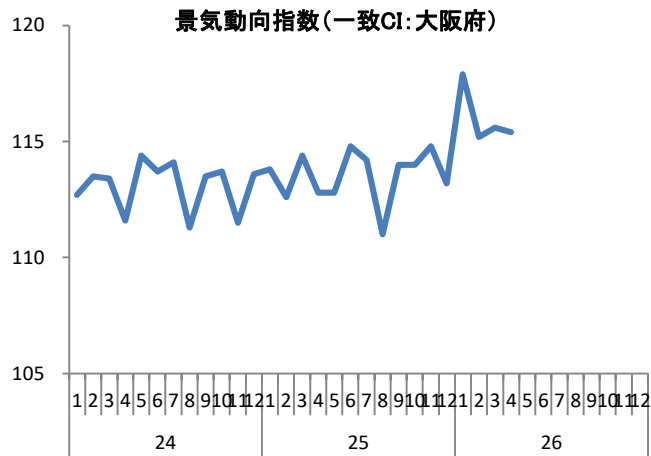
先行きでは、中東情勢による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要									
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
5月		▲	▼	▲	▲	▲	▼	▲	▼
4月	▼	▲	▲	▲	▲	▼	▼	▲	▼

供給						*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
	生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
5月		▲	▲	▼	▼	
4月	▼	▲	▼	→	▼	

●景気動向指数(CI)

大阪府(4月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」などが低下に寄与。



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

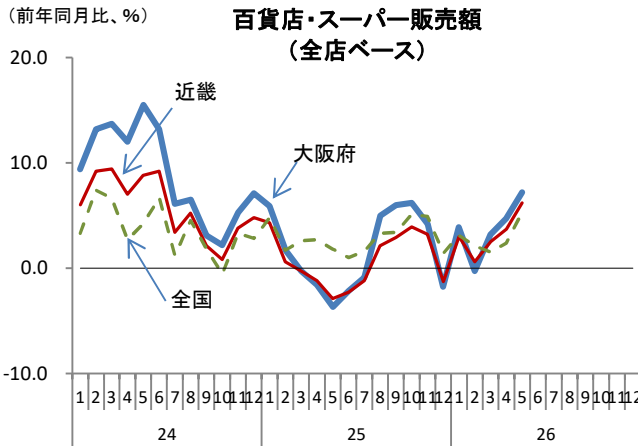
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、4月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.71	0.67	▲0.63	▲0.33	▲0.71	0.00	0.09

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。コンビニ販売額は減少。家計消費支出（近畿；4月）は増加。



(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

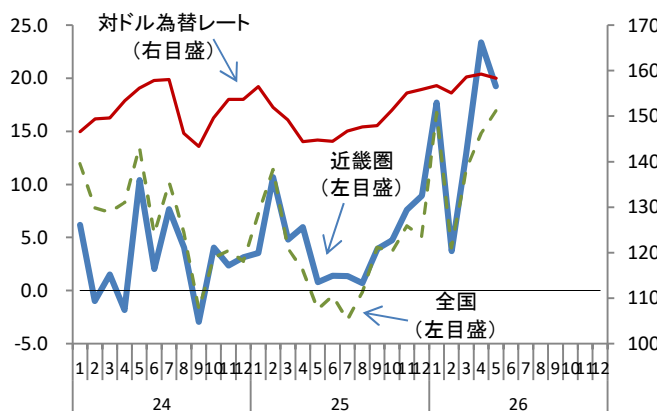
業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、5月速報）

大型小売店 合計		7.2
うち	百貨店	8.3
	スーパー	5.9

●貿易

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

(前年同月比、%) 輸出額、対ドル為替レート (円/ドル)



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、5月)

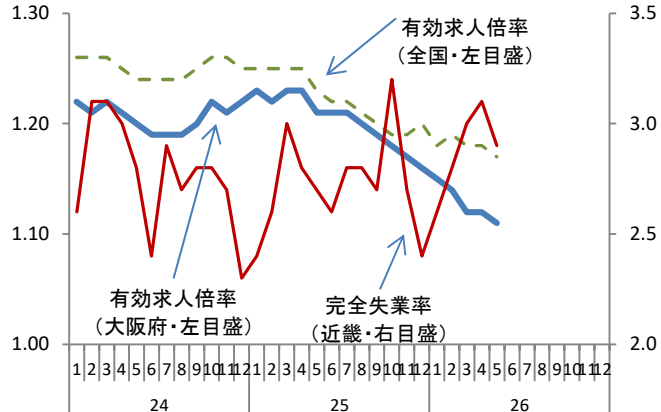
アジア(含む中国)	27.4	3ヶ月連続の増加
中国	28.5	3ヶ月連続の増加
ASEAN	23.5	5ヶ月連続の増加
EU	2.3	5ヶ月連続の増加
アメリカ	4.0	3ヶ月連続の増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(4月)は横ばい。

(季節調整値、倍) 有効求人倍率・完全失業率 (原数値、%)



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、5月)

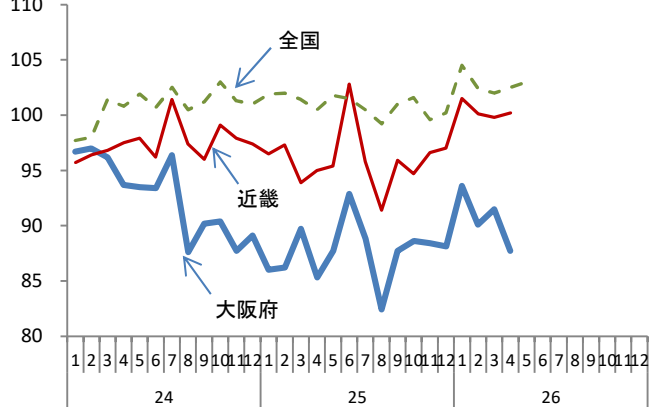
産業計	▲8.6
建設業	▲13.0
製造業	▲10.3
卸売業、小売業	▲14.5
宿泊業、飲食サービス業	▲12.1
医療、福祉	▲1.9

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(4月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(4月)は上昇。全国(5月)は上昇。

(季節調整値) 鉱工業生産指数



(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

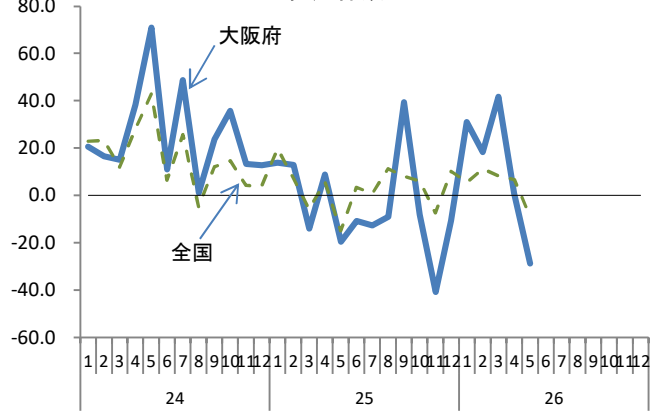
産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、4月速報)

上昇	鉄鋼・非鉄金属工業 (7.4) : 鉄鋼切断品、メーカー向け銅裸線 食料品工業 (8.1) : ウイスキー、冷凍調理食品
低下	化学工業 (▲22.3) : 医薬品、フルオロカーボン 電気・情報通信機械工業 (▲15.2) : プロジェクタ、リチウムイオン蓄電池

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

(前年同月比、%) 倒産件数



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、5月)

業種	負債額(百万円)
建材卸	1,160